

再意見提出

再意見提出者	社団法人日本芸能実演家団体協議会
--------	------------------

意見項目	意見内容
(2) ワイヤレスブロードバンドを実現するための課題(周波数の確保、国際標準化・研究開発の推進、利用環境の整備)	<p>弊協議会は、演劇、音楽、舞踊、演芸、伝統芸能などの専門芸能団体 71 団体（構成員 9 万名）が参加する社団法人で、芸能文化の振興を目的に活動を行っています。</p> <p>特定ラジオマイクは、ミュージカル、演劇、音楽などの演技、歌唱、演奏を劇場やホールにおいて観客に届けるために欠くことの出来ない機器として重要な役割を果たしています。これらエンターテインメント事業は特定ラジオマイクを利用する無線局としては規模が小さいものが多いが、この特定ラジオマイクの利用を通してエンターテインメントを享受する者は、劇場等に足を運ぶ年間延べ観客推計 5000 万人のうちかなりの割合に達しています。特定ラジオマイクは、国民が文化芸術を享受する上で重要な役割を果たし、日本の文化芸術の発展に大きな貢献を成しているといえます。また、この他にも、展示会やコンベンションなど多様な催事の運営で文化的にも経済的にも大きな役割を担っています。</p> <p>特定ラジオマイクは、近年、デジタル機器が導入されたばかりであり、帯域の移動など負担が大きい改革には反対いたします。</p>